

第2回 前近代歴史地震史料研究会

主催：新潟大学災害・復興科学研究所 危機管理・災害復興分野、科学研究費補助金基盤研究（B）「前近代の地震による家屋倒壊率と津波到達点の研究—1707年宝永地震を中心に—」研究グループ、科学研究費補助金挑戦的萌芽研究「前近代における地震活動期の研究—15世紀後半と16世紀末・17世紀初頭を中心に—」研究グループ

日時：2014年11月8日（土）10時20分～17時40分
（受付開始 10時00分）

研究発表会・ポスター会場：新潟大学総合教育棟D棟1階大会議室

研究発表会

●第一部 10:20～12:00 ●●●

矢田俊文	自然災害の発生頻度と被害状況からみた地震被害の特徴—越後長岡藩領を事例として—
堀 健彦	災害記録絵図の作製からみた江戸時代の地震災害のとらえ方
齋藤瑞穂	三陸海岸で検出された津波イベント堆積物の年代と遺跡の消長—岩手県域を中心に—
加藤 学	貞観五年越中・越後地震に関する考古学的研究
片桐昭彦	明応四年（1495）の地震と『鎌倉大日記』

ポスター発表 12:50～13:10 ●●●

加藤 学 新潟県における地震痕跡の考古学的調査

研究発表会

●第二部 13:10～14:30 ●●●

西山昭仁	『御番所日記』にみる日光東照宮での地震対応
原田和彦	善光寺地震における飯山・大町とその周辺の被害
近藤浩二	安政飛越地震における液状化被害の様相—不等沈下・側方流動を中心に—
安田容子	地震見舞いの書状にみる 1855年安政江戸地震と 1856年安政三陸地震津波

●第三部 14:40～16:00 ●●●

村岸純・佐竹健治	1855年安政江戸地震に関する千葉県域の史料
松岡祐也	1596年伏見地震における向島城の被害と徳川家康の動向
小野映介	徳島県撫養地区における入浜塩田の発達と 1596年慶長伏見地震の関連性
蝦名 裕一	綱吉政権における災害対応と復旧・復興事業—元禄・宝永地震と富士山噴火をめぐって—

●第四部 16:20～17:40 ●●●

浅倉有子	駿州岩本村の宝永地震被害
谷口 央	伊勢・志摩両国の地震関連史料に見る被害の実態—宝永地震を中心に—
原 直史	宝永地震における大坂市中の被害情報について再論
西尾和美	1707年宝永地震と土佐須崎

どなたでも参加いただけます（申し込み不要）

問合せ先

矢田俊文（新潟大学人文学部、新潟大学災害・復興科学研究所兼任）

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町 8050番地 新潟大学人文学部

TEL：025-262-6542 Mail：yata@human.niigata-u.ac.jp